

早期建て替えリニューアルを!!!

市議会で初提案

子育て・保健・児童発達を総合的に支援する 子育て拠点の整備を提案

松戸・柏・我孫子・野田・流山の5市（人口140万人）を管轄してきた「柏児童相談所」。施設の老朽化や狭隘化していることから、千葉県としてもR4年度から建て替えに着手と計画していました。同時に、人口50万人に1ヶ所の配置という全国平均からも大きく後退していることから、松戸・鎌ヶ谷市で1ヶ所（県立）、柏市で1ヶ所（市立）、我孫子・野田・流山市で1ヶ所とする計画が進んでいます。

小田桐市議の質問に、市子ども家庭部長は「現在の敷地は面積が狭く、現地での建て替えが無地かしいため、移転を前提とした検討が必要」とし、「今年5月26日に4千㎡程度の市有地についての紹介があった」と回答しました。

小田桐市議は、児童相談所の建て替えリニューアルにとどまらず、児童相談所を市内誘致と一体で、本市の子育て支援及び虐待・DV相談体制の抜本的強化、施設の狭隘化が進む本市保健センターの母子保健業務、保健所の新設、5年後に整備予定の児童発達支援センターの新設を一体化し、子育て支援の総合拠点化を提案しました。

流山市盤「貧困対策計画」の策定準備を

2013年、子どもの貧困対策の推進に関する法律が成立し、努力義務ながらも、千葉県や柏市・松戸市は独自計画を策定し、対策を進めています。一方、流山市では事前準備すら入っていません。

小田桐市議の質問に「重視さ

れていることから、本市でも計画策定の準備を行うことを検討している」と回答。R4年度の計画策定に向け、実態把握のためのアンケート項目の練り上げや精査等の具体的協議がよいよ始まりまます。



小田桐たかし

日本共産党市議会議員